

寝屋川市立第八中学校で『防災プログラム』を実施しました！

日時：2014年12月12日（金）（13：30～14：45）

場所：寝屋川市立第八中学校体育館

参加者：寝屋川市立第八中学校1年生5クラスの皆さん（162名）と先生方

ファシリテーター：建築学科学生10名+大学院生1名+教員1名（合計12名）

今回の見どころ

寝屋川市立第八中学校は、2014年度から総合学習の時間を用いて、防災についての学習を実施されています。今回は授業時間をお借りし、摂南大学生による防災プログラムを開催させて頂きました。リレー方式で、『自然災害と地震による建物被害』、『広島市における土砂災害報告』、『免震建物の説明と実験』、『地震による第八中学校の設備被害予想』の順に話を聞いてもらい、最後に〇×防災クイズで理解度を確認しました。



プログラム実施風景



まず最初に、自然災害と建物被害について先生から説明を受けました。



2014年に発生した広島市の土砂災害の報告を行いました。



地震に耐える建築技術（免震建物）について、簡単な実験を行いました。



地震による設備被害を説明し、第八中学校の被害予想結果を聞いてもらいました。



休み時間には展示した実験道具や模型の周りに多くの生徒が興味津々で集まってくれました。



〇×防災クイズを行いました。皆さん真剣に考えていました。

プログラム実施結果

これまで私たち建築防災研究室では、幼児や園児に対し防災プログラムを提供することが多く、中学生に防災に関する話をするのがありませんでした。よって、始まる前は、「なかなか伝わらないのでは?」、「真面目に聞いてもらえるか?」など心配しました。しかし、レクチャーが始まると、寝屋川市立第八中学校の皆さんは、とても集中して静かに聞いてくれました。この機会を頂き、私たちも「中学生にどのようにすればもっと防災についての興味や意識を高めてもらえるのか?」をより真剣に考えるようになりました。今後、この経験を基に、中学生にも防災をわかりやすく伝えられるようなプログラムを作っていきたいと思えます。

参加いただいた寝屋川市立第八中学校の生徒の皆さん・先生方、ありがとうございました。